

2013 年 8 月 5 日/千葉大学附属図書館 1 棟 1 階コンテンツスタジオ  
2013 年度アカデミック・リンク・セミナー(第 2 回)  
「ライティング・センターは学生の何を変えるのか」参加者アンケート集計結果  
当日参加者数：45 名 アンケート提出数： 35 件

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・ライティング・センターの有効性。
- ・初年度教育としてのアカデミック・ライティング授業の重要性。
- ・ライティング・センターでは添削をしないという、新しい発見がありました。
- ・図書館員の一部がレポートの書き方の指導を始めた。(明大和泉) 院生も学習支援室から派遣してもらっている。今後は両者の交流が必要だと思った。
- ・WC の重要性。
- ・ライティング・センターの存在を知った。
- ・文章を書くことは、論文に限らず生きていく上でとても重要なのに、何故普遍的に行われていないのか？もっと多くの人が受講できればいいと思う。
- ・チューターの採用・養成について大変よく理解することができ参考になった。
- ・質問にもありましたが、添削しないと聞きまして、どのように実際するのだろうかと思っていました。私は非常勤で授業させていただいているのですが、つい全部直してしまっているの(時間もないので)、「考えさせる」「書き手を育てる」というのがとても参考になりました。
- ・「ライティング・センター」とは何かも知らなかったの、イメージできるようになった。
- ・チューターのためのカリキュラム(研修、審査)/制度の充実の大切さ、難しさ(@1100→@2000)
- ・チューターの育成(一朝一夕には成し得ない)。
- ・ライティング・センターの具体的なとりくみがよくわかった。
- ・対話を通して書き手を育てることについてよくわかりました。添削しないということがおどろきました。
- ・ここまで軌道にのるのに、10 年の歳月を要したとのこと、ご苦労がよくわかりました。
- ・学生に教えさせるチュータリングを実践されていること。
- ・チューターが集まるしくみ。院生にとっては自身のキャリアと直結しているところにメリット(それ以外もですが)があるというのが発見でした。
- ・ライティング・センターは学生の“文章力”だけでなく学ぶ姿勢を育むものだと感じました。学生が自分で学ぶ姿勢を身につけることが、大切であり難しいことだと思います。
- ・ライティングの指導には効率ばかり求めてはいけないということを感じました。
- ・授業との連携が重要であることが理解できました。
- ・最終稿の段階ではなく、そこに至る過程で指導することが大切であるという点は非常に印象的でした。
- ・ライティング・センターについて初めて伺いました。大変参考になりました。
- ・他大学・遠方からも受講者があり、関心の高いテーマであることを知りました。具体的な運用・運営についてのお話があり大変参考になりました。
- ・早稲田大学のライティング・センターの仕組みと運営方向を聞くことで、自分の大学に足りないこと、必要なことなどが整理できた。
- ・初めて知る内容ですべて勉強になった。

(次頁に続く)

- ・Writing Across the Curriculum に共感します。専門領域でいないと教えられないという思い込みが強いようですが、Writing 指導は違う面が多いと思います。
- ・ライティング・センターについてよく知らなかったのですが、全体像がつかめました。新しい発見としては、リスクマネジメントの観点がありました。
- ・指導する上で気を付けるべきこと。
- ・教員・職員・チューターの協力。
- ・学生の文章を掲示することは新しい発見でした。
- ・各大学でライティング支援のビジョンを模索することが大切だとよくわかりました。参考になりました。
- ・チューター制度が効果的であること。
- ・大学組織内での認知度を上げていくことの苦労。
- ・チューター育成のプロセス、制度化の部分。
- ・ライティング・センターの必要性を学ぶことができました。

## 2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・どこまで、学生・院生をサポートすべきか？
- ・すべて分かった。
- ・そもそも大学院生にチューターをやっている時間があるのかという疑問があった。質疑応答で一部理解できるようになった。
- ・図書館との連携。
- ・FD に対する教員の理解（どのように根回ししていったか）。
- ・図書館員としては、図書館の役割が気になった。
- ・ライティング・センターの先導者は誰なのか、ということに興味があります。国語教員でも、英語教員でもなくライティング教育を専門とする人々なのかと感じました。
- ・図書館の職員として、ライティング・センターにどうかかわっていけばよいかということ。
- ・チューターの姿勢がカウンセリング要素が必要なのか？
- ・講演内容はわかりやすく、大変参考となりました。厚く御礼申し上げます。

## 3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・学習支援相談所（学習支援相談室）などについて。
- ・「図書館の壁」をこわす取り組みに関するセミナー。
- ・アクティブラーニングの運営の主役は教務 or 図書館？
- ・大学図書館については初心者なので今後の企画に期待しています。
- ・アカデミック・リンク・センターを運営するための職員の育成、組織について。
- ・図書館職員(司書)の読書力や読書量に関する実態はどうなっているのか、関心を持っています。

4. 本日のセミナーの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・金大の今後のライティング・センターの設立に大いに参考になりました。
- ・又、今後も参加したい。
- ・頼られないように育てていくということが、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・貴重なお話をありがとうございました。
- ・指導方法について勉強になりました。
- ・本学にも学修支援席をもうけているが、まだ十分に活用されていないので、本日のお話を参考に改善していければと思っております。
- ・大変参考になりました。
- ・今後ライティング・センター設立が各地で行われることが予感されました。
- ・とても興味深く参考になりました。ありがとうございました。
- ・大変役立つ内容で有難うございました。
- ・今回のセミナーは図書館職員が主な対象だったんですね。来てからわかりました。
- ・非常に参考になりました。
- ・本当にためになりそうです。
- ・パワーポイント画面の文字数などもちょうど良くて、見やすく感じました。ありがとうございました。

5. 次の(1)、(2)について、該当するものに○をつけてください。

- (1) a. 学外から参加 26 名      b. 学内からの参加 6 名   無回答 3 名  
(2) a. 学生 1 名   b. 教員 6 名   c. 大学職員(図書館職員を除く) 1 名   d. 図書館職員 18 名  
e. 出版関係 1 名   f. その他 6 名   無回答 2 名

6. セミナーを何で知りましたか？

- a. Web (アカデミック・リンク・センター) 4名 b. Web (図書館) 2名 c. Web (千葉大学) 0名  
d. 図書館内電子掲示 0名 e. ポスター 4名 f. センターからのメール 15名 g. Facebook・Twitter  
1名 h. その他8名( 図書館団体経由、図書館職員からの紹介など) 無回答 2名

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。（既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です）

お名前：( )

ご所属：( )

電子メールアドレス： ☐ 申込時に申請したもの ☐ それ以外（ ）

ご協力ありがとうございました。

※10 名が新規に継続的な情報提供を希望